

月曜日

21

きょうのみことば

使徒 3:1~10

すると、ペテロは、「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい」と言って、 (6)

レムナントの目

マコトは、いろいろなことで悩んでいます。「勉強もしなかったから、今度のテストもだめだ。ヒュー！サトル、おまえは心配しないのか」ふたごの弟のサトルが答えました。「ぼくは、いつも勉強をしているから、心配しないよ。ぼくには、明日のテストは、お母さんにほめてもらう、絶好のチャンスに思えるよ」

1. 福音の目で問題を越えましょう

普段から、勉強をあらかじめしている人は、テストになっても心配がありません。だが準備をしていなかった人は、心配がいっぱいになります。世の中の人々は福音を持っていません。それで、問題がくれば傷の目で、恐れのもでながめます。知らないふりをしたり、おたがいにけなして、けんかもします。しかし、福音を持っているレムナントはちがいます。福音の目で問題を正確に診断して、私だけでなく、みんな同じように生かすようにします。

2. 信仰の目で霊的な奥義を見ましょう

世の中の人々は、自分の考えだけ正しいと意地をはって、名誉・お金・美しさにだけすべての関心を注ぎます。しかし、霊的な目を持った人はちがいます。ペテロとヨハネは、神殿の前に座っている足のなえた人を救済の対象には見ませんでした。神様を離れた苦しみの中にいる人だと見て、イエス様の御名で立て起こしました。レムナントも、ペテロとヨハネのように、霊的な目を持って世の中を生かさなければなりません。

愛の神様、ありがとうございます。私を神の子どもにしてくださって、福音の目、信仰の目、霊的な目を持たせてくださって感謝します。この世を生かし、答えを味わう力あるレムナントにならせてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

✪ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



えにしだの木の下のエリヤ

エリヤがすずしい木陰で祈ることができるように葉をいっぱいください





習慣のいやし

天才バイオリニストのサラサーテの言葉です。人々は自分を天才だと言うが、37年間、14時間ずつ毎日バイオリンを練習しました。このように何でも身につけようとするなら、一貫した訓練と努力が必要です。良い習慣も同じです。

1. 自製の美

聖霊の九つの美は3つに分けることができます。愛・喜び・平安は神様に向かった美で、寛容・親切・善意は、他の人に向かった美で、誠実・柔和・自制は自分に向かった美です。ある神学者は、自制がもっとも重要な美だと言いました。ブレーキがない自動車は事故を起こすように、自制がない生き方は、人生を滅ぼすからです。

2. 私に勝つ力を養いましょう

私がいる家、学校、教会で私を見つけなければなりません。福音の中で、私を見つけなければなりません。神様と通じる祈りの奥義の中で私を見つけなければなりません。定刻祈りと常時祈りの中で私を見つけなければなりません。礼拝の中で私を見つけなければなりません。問題とできごとの中で、神様の計画を発見する私を見つけなければなりません。

3. 新しく挑戦しましょう

手のつけられない状態にせずに、先に良い習慣と悪い習慣を区分して、真実の考えと真の勇氣と心より悔い改めながら、一つずつ直していきましょう。挑戦する人だけが良い習慣を持てます。レムナントは、キリスト・イエスの中にある恵みの中で強い人々なのです。

きょうのみことば

テモテ 2:1-2

そこで、わが子よ。
キリスト・イエスにある
恵みによって強くなり
なさい。(1)

父なる神様、良い習慣を持ちたいです。私ができることから、ひとつずつ始めて、一つずつ少しずつ変えていくことができるように、力と勇氣をください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

★定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



エリヤに出会ったエリシャ

エリシャが両親とおわかれのあいさつをしました。また、畑をたがやしていた牛2頭を殺し、牛が引いていた農具を火で燃やして料理して、村の人々に分けました。2つの絵にはちがいがあります。見つけてください。



10個のちがいを見つけてね

水曜日

23

きょうのみことば

使徒 2:14~21

これは、預言者ヨエルによって語られた事です。(16)

しょうにん 証人のはじまり

1880年代、イギリスには、中学と高校に特殊学級がありました。そのクラスは、勉強をあまりできなかったり、知能がおくれた子どもたちが授業を受けるところです。その特殊学級で勉強をしていた子どもが、英国士官学校に入って、戦争で英雄になり、イギリスの首相になりました。人々は、その子を20世紀でいちばん偉大な政治家ウィンストン・チャーチルと呼びます。チャーチルは、困難な中で、あきらめないでそこから始めました。レムナントも、困難があっても、その中から始めなければなりません。

1. 困難は、伝道のはじまりです

大部分の人は、困難と問題をさけようとしています。ところが、ヨセフは、家庭の問題の中でキリストの奥義を見つけ出しました。初代教会は、迫害の中ですべてののろいに勝つキリスト、神の国、聖霊の働きを見て祈りました。

2. 聖霊の働きを体験しましょう

「私と関係ない問題なの!」と言えば、本当に問題ではないでしょうか。問題の中で重要な答えを見つけ出さなければなりません。神様の時刻表を待ってみましょう。そうすれば、聖霊がかならず働いてくださいます。

3. 証人になりましょう

レムナントは、一日、一週間、一ヶ月、一年のスケジュールを組んで、誠実に守って行かなければなりません。それとともに、みことばの証拠をにぎって、祈りの時間を持たなければなりません。とても大変なことに聞こえますか。それなら、毎日とても簡単で小さいことから一つずつ実践してみましょう。小さい実践が証人のはじまりなのです。

神様、困難を越える恵みをくださってありがとうございます。迫害と苦難の中で伝道のはじまりをすることができるレムナントにならせてください。神様の時刻表を待って、聖霊の働きを体験する証人となりますように。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

✪ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



「私は、メシヤ、すなわち、キリストという人が来られることを知っています。来られれば、すべてのことを私たちに知らせられると言われました」

女が話しました。すると、イエス様はあたたかい目つきで女をご覧になりました。

「今、あなたと話しているわたしがまさにそれです」

女は、このうれしい知らせを町の人々に伝えるために、水がめを置いたまま町に走っていききました。町の人々を避けて、いつも暑い正午に水をくみに来ていた女がそのようにしたのでした。女からイエス様について話を聞いた人々はイエス様のところにやってきました。イエス様は、ユダヤ人がとてもきらいだったサマリヤの人々といっしょに二日間そこにいて、彼らにみことばを与えられました。その町の多くのサマリヤ人は、イエス様のみことばを聞いてイエス様を信じるようになりました。



イエス様に出会った

サマリヤの女



イエス様は

弟子たちといっしょにユダヤを出て、ガリラヤに行こうとされました。ガリラヤに行くには、サマリヤ地方を通らなければなりません。しかし、ユダヤの人々はサマリヤの人々を、とてもきらいだったので、どれくらいきらいだったかという、サマリヤ地方を通らないように遠回りして行ったりしていました。しかし、イエス様はそうにされませんでした。サマリヤ地方を通ってガリラヤに行くと言われました。長い旅につかれたイエス様は、井戸のそばに座っておられました。その井戸の名前は、ヤコブの井戸でした。

「私にその水をください」

私わたしがもうかわくことがないだけ
ではなく、もう水をく井に
ここまで来なくてもよいように、
女おんなが言うと、イエス様イエスさまが
答えられました。

「行って、あなたの水を
飲んで、こちらに連れて
きなさい」

女おんなはとまどいながら

「私わたしには水みづは
ありません」
と答えました。

「あなたには水みづがいないといった語ことばは、正しい言葉ことばです。
あなたには五人ごにんの水みづがありました。しかし、今、あなたと一緒に暮くらして
いる男おとこもあなたの水みづではありません」

「あなたには預言者よげんしゃですわね」

女おんなは大声おおいこゑを振り上げました。

女おんなは、イエス様イエスさまに礼拝らいはいをどこでささげてこそ、真まことの礼拝らいはいなのかと
尋たずねました。イエス様イエスさまは、礼拝らいはいの場所ばしょが聖堂せいどうなのではないと
言いわれました。神かみは聖せいですから、礼拝らいはいする者は、聖せいとまことに
よって礼拝らいはいするとおっしゃいました。



正午しょうごであったためなのか、太陽たいようの光ひかりがサンサンと輝あかいていました。

それで、サマリアの人ひと々は、その時間じかんには水をく井いには出てきませんでした。
しかし、遠くからひとりの女おんなが水をく井いにやってきました。イエス様イエスさまは、
その女おんなにおっしゃいました。

「わたしが飲む水をちよとくください」

ユダヤの人ひとは、サマリアの人ひと々びとをきらっていることをよく知っている女おんなは
イエス様イエスさまに聞きなおしました。

「あなたは、ユダヤの人ひとではないですか。ユダヤ人は、サマリアの

女おんなに話はなもしないと思うのですが」

「あなたが神様かみさまがくださる贈り物たまひものがなにか、

また、わたしがだれなのだ知るなら

わたしに菜さいめるでしょう。そして、

わたしは生なまける水を

あなたに与たまえたいでしょう」

女おんなは、目を丸まるくしました。
すると、イエス様イエスさまが、

もうのどがかわかないと
おっしゃいました。



木曜日

24

きょうのみことば

出 19:7~15

すると、主はモーセに仰せられた。「見よ。わたしは濃い雲の中で、あなたに臨む。わたしがあなたと語るのを民が聞き、いつまでもあなたを信じるためである。」それからモーセは民のこぼを主に告げた。

(9)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

えいえん しん 永遠に信じるためである

魚は、水の中で生きるとき、いちばん幸せです。木は、地に深く根をおろしてこそ幸せです。これを創造の原理と言います。同じように、人々は最初から神様とともにいてこそ、幸せになるように造られました。神様を離れたときから、人間にはすべての問題がやってきたのです。

1. 永遠に怒ってはならないことがあります

世の中には2つの事がずっとくりかえされています。神様を知らない友だちは、サタンの奴隷になって生きて、神様の子どもになった友だちは、聖霊の導きを受けながら生きています。しかし、福音をのがせば、ほえたける獅子のようにサタンが攻撃します。それで、レムナントは福音を絶対にのがしてはいけません。

2. 永遠にしなければならぬことがあります

神様がモーセにおっしゃるのに、聞くことができなくて信じる事ができない民がないように、子孫に、長老に、すべての民に伝えなさいと言われました。聞かなければ信じられなくて、伝えなければ聞くことができません。親に従って先祖をおがんだり、異端に陥っている友だちに福音を伝えてみてください。伝道と宣教は、神様が与えられる力で永遠にしなければならぬことなのです。

3. 神様の力を体験しましょう

みことばが聞こえるように、みことばが信じられるように、みことばをにぎって答えを受けるように、いつも祈らなければなりません。みことばの中で神様の力を体験できます。礼拝とタラッパンを通して神様が与えられる力を得る時、レムナントの未来を責任を持っておられる神様の力を体験することができます。

神様、みことばを聞いて、みことばを信じて、みことばをにぎって答えられるレムナントにならせてください。モーセのように、福音をすべての人が聞くことができるように叫ぶ証人の人生を生きることができるよう。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

✪ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



金曜日
25

きょうのみことば

ローマ 7:19-25

そういうわけで、私は、善をしたいと願っているのですが、その私に悪が宿っているという原理を見いだすのです。
(21)

心の中にある2つの原理

アカリは、クラスの友だちのミユキの家に遊びに行きました。お父さんとお母さんが共稼ぎで出ているので、家にはだれもいませんでした。ミユキは、お酒を取り出して、アカリに言いました。「私はさびしいときには、これを飲むの。そうしたら、気持ちが良いくなるの。あなたも飲んでみて」アカリは、心の中で2つの原理があつて戦いました。「神様の子どもは、こんな誘惑に乗ってはいらない!」「いいじゃん。気持ちが良くなるなら」アカリは、決心して「私は飲まない。それから、なぜあなたがさびしいのか、理由を教えてあげる」と言って、福音を伝えました。

1. 聖霊の原理と肉の原理

神様の子どもの中には、聖霊の原理(欲)と、肉の原理(欲)がいつも戦っています。信仰の先祖アブラハムもそうでした。白照りという問題の前で、肉の原理に従ってエジプトに行ってしまう。しかし、聖霊の原理に従っておい口を送る信仰の選択をした時には、神様の働きを体験しました。神様は、今でもレムナントがこの信仰を選択して、神様の働きを体験するように願っておられます。

2. 伝道者パウロの祈り

「ああ、私は、ほんとうにみじめな人間です。だれがこの死の、からだから、私を救い出してくれるのでしょうか」伝道者パウロがした告白です。パウロは自分の姿を隠しませんでした。率直に、真実に神様の前に立ちました。その時、神様は働かれました。レムナントも、パウロのように神様の前に正直になる時間を持ってみましょう。私の心をすべて知っておられる神様は、なぐさめて答えてくださいます。

神様、私の心の中に2つの原理が出てきて戦います。私に恵みをくださって、信仰の選択をさせてください。神様の前に真実に立って、神様があたえてくださる、なぐさめと答えを体験するレムナントにならせてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

✻ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTCのために祈りましょう

エレミヤ 23:1-6 その日、ユダは救われ、イスラエルは安らかに住む。その王の名は、『主は私たちの正義。』と呼ばれよう。(6)

アドナイ・ツィケヌ



イスラエルの民が、神様のみことばを聞かないで、その心をかたくなにして、うそをつく心で生きていきました。神様でない**他の神**につかえて、その前にお辞儀をすることさえしました。完全に変わってしまったイスラエルを神様はゆるされることができませんでした。結局、イスラエルの民は**捕虜**として引きずられて行きました。そのうちに、また神様に悔い改めて、立ち返りました。しかし、また神様のみことばを聞かなくなりはじめました。

これこそがイスラエルの歴史です。神様によくつかえて、墮落して、捕虜になって、属国として引きずられて行って、悔い改めて、また戻ります。このようなくり返しは、エレミヤ時代までずっと続いたということです。

ところで、預言者エレミヤの時代に、イスラエルは滅びて、民たちは、捕虜になって捕まえられて行くようになりました。しかし、神様は

この暗い**審判の時期**と**失敗の時期**に、新しい**契約**である**恵みの約束**をあたえられました。神様がイスラエルの民に新しい心をごださって、神様と正しい**関係**を結べるようにされたのです。

神様は**人の力では、霊的な問題を解決できないこと**をよく分かっておられます。それで、**アドナイ・ツィケヌ(神様は私たちの義)**という言葉のように、イエス・キリストを通して私たちを**義と認める**ようにされました。それだけではなく、**義に認められて生きる**ように、**新しい心と力**をあたえてくださろうと、**主の霊**である**聖霊**が内住して導いてくださいます。

もしかして、**私の心**が**私の思い通り**にならないのでしょうか。よくない**習慣**をくり返すのでしょうか。

私たちの力で行うことができないので、キリストを**送って**くださったのではないですか。今日一日、**ダドナイ・ツィケヌ**を**黙想**しながら、**新しい心と力**をあたえてくださいと祈ってみましょう。



26日(土)

だいす
大好きな
サクラちゃんへ

サクラちゃん、元気？ セイコです。

少し前、^{わたし}私にあなたが、おさげにするより
ショートカットのほうが、にあうと言ってくれた
でしょう。ほかの友だちは、みんな男の子みたい

だってからかったから、^{わたし}私はそう言って
もらって、とてもうれしかったの。

だから、^{わたし}私がこんど、夏休みのときに
インドネシアのバリに^{てんご}伝道キャンプに行った
話をしてあげたいと思って、手紙を書くことに
したの。

今回のキャンプは、「主のみこころを抱くキャンプ」という^{しほ}主題で行われたの。

^{わたし}私は、海外キャンプは、今回がはじめてだったので、どれほど^{おんが}胸がどきどきしたか。
それで^{ひこうき}飛行機の中で手を合わせて^{いの}祈ったの。

「イエス様、イエス様の心を^{いだ}抱いて、福音をつたえるように、^{せいれい}聖霊で満たして、
^{みちび}導いてください」

インチョン^{ひこうば}飛行場を出発した^{ひこうき}飛行機は、7時間かかって、インドネシア、バリ島の
テンバサール^{くうこう}空港に到着したの。空港いっぱい、強い^{かほり}香りのにおいがしていて、あちこ
ちに立っている^{くわが}偶像が見えて、^{わたし}私は、インドネシアが90%がヒन्दウー教の^{くわが}偶像に^{つか}任
えているということを感じたの。

ところで、そこにいた^{げんち}現地の働き人が、がたっとびっくりする音を出したの。インドネ
シアでは、道で福音を^{つた}伝えるとつかまって、^{けいむしょ}刑務所に15年も



❁ 定刻祈りの点検：

昼 12 時

教会のために祈りましょう。

夜 9 時

RUTCのために祈りましょう

閉じ込められないといけないということだったの。だから、私は心の中で「神様、ここで霊的な目を開いてくださって、見るべきことを見させてくださって、出会いの祝福をください」と祈ったの。

私と私たちのキャンプチームは、ライフハウス孤児院に行って、福音を伝えようとしたの。そこには、私と同じ年くらいの子どもたちが 25 人いたの。それで、その中でキッタという子どもが私に向かってニコッと笑って、私のところに来て、私の手をつかんで、これは何なのとたずねたの。そのとき、私の手には伝道のトラクトがあったのよ。

私はキッタに、インドネシア語で準備した伝道トラクトを、たどたどしく読んであげたの。「イエス、アティラ、クリストス（イエス・クリスト） アナク、トゥハン（神様の子ども）」伝道トラクトを読んだら、子どもたちが一人、二人と集まってきたの。

その日、25 人の子どもたちが純粋にイエス様をキリストとして受け入れたの。

私は私を神様の子どもにしてくださいと、現場で伝道者として用いてくださる神様に感謝したの。そして、お父さん、お母さんの祈りと、物質的にバックアップしてもらって、伝道キャンプに行った私が、どれほど祝福された伝道者なのかわかったの。

それで、サクラちゃん。私はあなたにもキッタのようにイエス様をキリストとして受け入れて神様の子どもになったらいいと思う。明日、私があなたに神様に会う道を教えてあげてもいいかな？

サクラちゃんが大好きな友だち、セイコ

